

平編すずめっき銅線

(記号 : TBC)

製 作 仕 様 書

1. 適用範囲

この仕様書は、可とう性を必要とする電気導体として、電気機器の接続部、アース線、その他に使用する平編すずめっき銅線（以下、平編線と呼ぶ）について適用する。

2. 関連・引用規格

JIS C 3152	すずめっき軟銅線
JIS C 3002	電気用銅線及びアルミニウム線試験方法
JCS 1236	平編銅線

3. 種類及び記号

種類及び記号は、表1の通りとする。

表1 種類及び記号

種類	記号	備考
平編すずめっき銅線	T B C	素線にすずめっき軟銅線を使用したもの

4. 寸法

寸法は公称断面積(mm²)で表し、公称断面積及びその構成は、付表のとおりとする。

但し、素線数の許容差は、付表の本数に対して±5%（小数点以下切り捨て）とする。

5. 外観

外観は、いちじるしい編みくずれ、素線の浮き上がり、曲がり、その他実用上有害な欠点が無いものとする。

6. 材料及び加工方法

6.1 素線 : 素線は編組前において、JIS C 3152「すずめっき軟銅線」に適合したものとする。

6.2 編組 : 平編線は、素線を集束したものをむらなく均一に編組し、さらに偏平に加工したものとする。

6.3 素線の接続 : 各素線は圧接によって接続を行うことができる。

但し、接続点は集中してはならない。

7. 試験方法

平編線の試験は次の各項によって行う。

7.1 外観試験は JIS C 3002「電気用銅線及びアルミニウム線試験方法」の 3 項により行う。

7.2 構造試験は JIS C 3002 の 4 項により行う。

素線数は、全数を数えるか又は持数および打数を数えた後、それらを乗じた本数とする。

7.3 めっき試験は JIS C 3002 の 8 項により行う。

但し、多硫化ナトリウム法の場合の試験回数は、3 回とする。

8. 検査

7. 項の試験方法により次の項目について試験を行い、4.、5. 及び 6. 項の規定について適合しなければならない。

- (1) 外観
- (2) 構造

9. 包装

平編線は 1 条の標準長をボビンまたはドラム巻とし、運搬の際損傷しないように包装するものとする。

10. 表示

表示は、各 1 巻ごとに、次の事項を記載した荷札を側面に付けるものとする。

- (1) 名称 (例: TBC)
- (2) 構成 (例: 490/0.12)
- (3) 長さ
- (4) 公称断面積
- (5) 正味質量
- (6) 総質量
- (7) 製造業者 又は 略号
- (8) 製造年月
- (9) ロット番号
- (10) 回転方向 (木製ドラムの場合のみ)

付 表

公称 断面積 (mm ²)	素 線 径 (mm)	計算 断面積 (mm ²)	素線数 (本)	構成		参 考			
				持数 (本)	打数 (本)	仕上寸法 巾×厚 約(mm×mm)	電気抵抗 [20] (/Km)	概算 重量 (Kg/Km)	標準 長 (m)
5.5	0.12	5.542	490	15	32	12 × 1.5	4.01	59	500
8	0.12	8.098	716	22	32	15 × 1.5	2.75	86	300
14	0.12	14.11	1248	39	32	20 × 2.0	1.58	150	200
22	0.12	21.99	1944	61	32	25 × 2.5	1.01	230	100
30	0.12	30.13	2664	83	32	30 × 2.7	0.738	320	100
38	0.12	37.32	3344	105	32	35 × 3.2	0.588	400	100
50	0.12	49.76	4400	138	32	40 × 3.8	0.447	530	100
60	0.12	59.38	5250	165	32	40 × 5.0	0.375	630	100
80	0.12	79.98	7072	221	32	36 × 5.0	0.287	850	100
100	0.12	101.8	9000	281	32	42 × 7.0	0.219	1060	100
150	0.12	150.1	13280	417	32	60 × 6	0.146	1530	50
200	0.12	200.1	17696	548	32	70 × 9	0.113	2070	50

1. 表中の計算断面積、仕上寸法、電気抵抗、質量は20 の素線の標準径における値とする。

2. 表中の電気抵抗、質量は編込率20%として計算したものである。